

ひまわりだより11月号をお届けします

広報こたけ

ひまわり だより 11

2012 November No.478

contents

- ▶特集 2
- ▶みんなのひろば 4
- ▶点描・町長の動き 5
- ▶役場からのお知らせ 6
- ▶読書の森 12
- ▶健康情報 13
- ▶暮らしの情報 14

特集
「協働」ってなあに？

特集 協働ってなあに？

今回の特集では、小竹町が行っている地域との協働施策や職員の取り組み、そして、他の自治体で取り組まれている事例を紹介します。

これからの小竹町に必要な「協働」を考えていくきっかけにしませんか。



なぜ、協働が必要なの？

「協働」とは、一般的な考え方として、地域が抱える課題を行政が単独で解決できない場合や住民だけでは解決できない場合にお互いの不足する部分を補い合って、ともに協力しながら解決に向けた取り組みを行うことです。

また、社会情勢が地方分権・地方主権社会へと移っていることとする中で、小竹町が維持可能な町として存続していくためには「自分たちの町（地域）」は自分たちでつくる」という意識を持った住民が主役となり、行政と協力し合いながらまちづくりを進めていかなければなりません。

さらに、住民自ら地域づくりに取り組むことで、地域資源、人材の掘り起こしができ、町としても地域の特色に応じたまちづくりを進めることができます。

現在、町が取り組んでいる「協働」施策とは？

小竹町は、平成21年度から地域協働施策に取り組んでいます。その施策の一つが「地域づくりモデル事業」です。この事業は、小竹町が策定した「第4次小竹町総合計画」に基づき、協働

を基本にまちづくりを進めるため、町民の知恵、知識、経験などを集結し、地域住民自ら計画し、実践する「地域活動」をモデル的に行うことを目的に平成22年度から実施しています。

平成24年度までに町内5地区がモデル地区として参加し、地域の伝統芸能継承活動、地域の環境づくり、災害時対策活動、地域のイベントなどの事業を計画し、実施しています。

地域協働という手法を使うことで、地域と行政の役割も明確になっています。モデル事業では、地域の役割として事業計画の発案、策定、実行があり、行政の役割として財政支援、必要に応じ地区担当職員の派遣が挙げられます。また、事業の計画内容、事業成果については、地域協働推進員で構成する「まちづくり協議会」でヒアリングが行われます。

この「地域づくりモデル事業」は本年度でモデル期間が終了となります。今後は、これまでの事業について検証を行い、課題を洗い出し、来年度からの事業内容を考えていくために、10月19日に各校区から選ばれた地域協働推進員8人と職員8人で構成する「協働のまちづくり事業提案制度あり方検討委員会」を立ち上げ一緒に議論を行っています。議論の結果等については、広報やホームページでお知らせしていきます。

職員の取り組み

地域協働施策に取り組むと同時に、地域からの要請があるときに職員を派遣する「職員担当制度」をスタートさせました。平成24年度までに、地域活動への参加、書類作成などを職員がボランティアで行い、職員が持つノウハウを地域へ提供しています。

さらに、4月から職員チーム（11人が参加）を立ち上げ、今後の協働施策の方向性や事業展開について検討するために週1回のペースで勉強会を行うとともに、8月末までに3回の職員研修を行いました。

協働相手どう選ぶ？

協働をするには相手が必要です。例えば、小竹町が実施しているモデル事業で言えば、地域と行政になります。

どんな事業を実施するのか、その目的によって協働する相手が決まります。モデル事業では、1対1でしたが、事業の内容によっては、老人会、子ども会、NPOや事業者など多くの団体との協働も考えていかなければなりません。

では、相手をどうやって選ぶべきなのでしょうか。他の市町村で実施されている協働事例を見ながら、そのヒントを探ってみましょう。

実際に取り組まれていた協働事例を紹介

☆協働事例①☆

分野の違う団体が 同じ目標に向かって協働

▶事業内容

川の清掃活動を行っている住民活動団体が、川の流域で活動しているさまざまな団体に呼びかけてクリーンアップ大作戦を実施した。

▶協働の相手

住民、住民活動団体、事業者

▶成果

地域に流れる川の清掃活動をさまざまな団体と協働することで、多くの人が集まり、広範囲にわたって活動が可能になった。

▶効果

活動参加の呼びかけに必要なつながりが生まれたり、子どもたちに川の大切さを伝えることができた。

☆協働事例②☆

地域ぐるみの協働 地区のNPOや商店が まちづくりに参加

▶事業内容

「高齢者・子ども・女性が安心して生活できるまち」をめざし、高齢者福祉の団体や事業所とともに地域交流イベントを開催した。

▶協働の相手

住民、地域団体、住民活動団体、教育機関等、事業者

▶成果

協働する団体と企画から関わっていたので、団体同士の交流ができ、今後のまちづくり(地域づくり)の基盤ができた。

▶効果

団体が持つ特徴を生かすことで、イベントの内容を充実することができた。

☆協働事例④☆

災害時には協働が必須 日ごろからのネットワークづくり

▶事業内容

献血や寄付だけではなく、災害時にも活躍するなど多方面の赤十字活動を知ってもらうために講演会と体験コーナーを開催した。

▶協働の相手

地域団体、住民活動団体、事業者

▶成果

災害時に協力が必要な団体と連携ができた。また、それぞれの団体の活動を多くの人に知ってもらえた。

▶効果

炊き出しの参考になった、障害者への対応が学べた、活動がPRできたなど、協働した団体が本来持つ役割を再確認できた。

☆協働事例③☆

専門知識を持つ相手と協働し、 内容を充実

▶事業内容

食育キャラクターを使って、生活習慣病予防の知識を楽しく学びながら、料理教室を開催した。

▶協働の相手

住民活動団体、事業者、行政

▶成果

「食育」に関する講座を企画したが、さらに内容を良くするために専門家に協力してもらうことで、参加者の食育への関心を深めることができた。

▶効果

専門家ならではの解説でわかりやすく伝えることができるとともに事業推進のアドバイスと協力がもたらえた。





町長の動き — 9月21日から10月20日まで —

9月24日	九州電力飯塚営業所来庁 太平洋工業小川社長来庁	町長室 町長室
9月25日	じん芥施設組合議会 自治基本条例制定準備委員会 臨時庁議	じん芥施設組合 庁舎内会議室 議員控室
9月26日	企業誘致活動	東京都
9月27日	企業誘致活動	東京都
9月28日	自治会長会、環境衛生組合長会合同会議	福祉センター
9月30日	小学校運動会	町内各小学校
10月1日	一人暮らし老人ふれあいの集い	福祉センター
10月4日	福岡県清掃事業協同組合連合会設立30周年記念祝賀会	ホテルオークラ福岡
10月5日	庁議 暴力追放住民総決起大会 自治労小竹町職員労働組合定期大会	議員控室 直方市中央公民館 福祉センター
10月10日	事業協定締結式	福祉センター
10月12日	猟友会総会 メガソーラー発電所建設地元説明会	J A直鞍本部 御徳3区公民館
10月14日	幼稚園運動会 こちくちゃん市	小竹幼稚園 中央公民館
10月15日	議会運営委員会 暴力追放！地域決起会議(筑豊地区)	文教厚生委員会室 田川文化センター
10月16日	遠賀川河川事務所副所長来庁	町長室
10月17日	小竹町戦没者追悼式	福祉センター
10月19日	協働のまちづくり事業提案制度あり方検討会	福祉センター

どちらへと又問われけり秋裕
 鯛雲一文字に飛ぶかもめあり
 名優の台詞にたたむ秋裕
 山粧ふ神話の里は無人駅
 やまよそ
 穂芒のうしろに沈む大落暉
 穂芒のうしろに沈む大落暉
 芒野やパノラマとなる大観望
 伊藤扇白 選

小竹筍句会

阿部天風 選

コスモスや笑いの中の講話あり
 東北の友より電話夜の長し
 竹内 志津
 竹内すみえ
 原賀 静子
 松尾 治子
 伊藤扇白 選

小竹同人俳句会

猪徑を小走りに行く秋遍路
 木犀の香りの町に棲みつきぬ
 病院の中の花屋の秋桜
 ようやくに禁酒のつけてぬくめ酒
 額あげて阿蘇の気を飲む天高し
 松崎 直

小竹中央公民館サークル

阿部天風 選

点描

北朝鮮への批判しか許さないような世間の風潮に違和感を感じる中で「偏見なしに人々の営みを撮りたい」と訴え、北朝鮮における写真撮影を許された日本人写真家の記事が目付いた。「北朝鮮の人たちは、質素で謙虚です。自由はないけれど、家族のためにひたむきに生きている。不思議と懐かしさを感じます」と撮影時の印象を語る。「日本は豊

かなのに、なぜ年に3万人も自殺するのか」と聞かれ、「瞬答えに窮したが「自由で何でもできるからこそその悩みがある」と答えたという。東京都内の「昭和のくらし博物館」で特別展が開催されている。昭和という時代の日本の暮らしぶり、時にはおせっかいと思えるほど、家族や隣近所つながりが親密で温かく、限られたものを工夫して大切に使う

日々の暮らしは、つつましくも、ゆつたりと時間が流れていたという。「今、この昭和という時代を庶民の暮らしの面から考え直していただければと思う」(学芸担当者)。あの頃あったのに、いま失われたものは何なのか。そう考えることで、昔に戻るのではなく、新たな暮らしや地域社会の創造へ。それが「協働の町づくり」へのヒントになるのでは。

Town's topics

みんなのひろば

あなたの住む地域のイベントや身近な話題などの情報を広報で発信しませんか？

連絡先▶総務課情報係 ☎2・1212



◎たくさんの義援金と物資ありがとうございました

9月23日に開催したフリーマーケット・バザーに、町内外からたくさんのかたにご来場いただき盛況のうちに終わることができました。改めてお礼を申し上げます。

皆さんから頂いた義援金(650,058円《内訳》本町区ほか225,744円、フリマ・バザー関係者424,314円)は、10月に宮城県石巻市や小竹浜地区の被災者のかたに500,058円、同市洞源院に150,000円届けました。

その他タイムサービス用に、お米、果物、パンなどの物資の提供もたくさんありました。



記事と写真の提供▶東日本復興応援フリーマーケット実行委員会

◎もしもの時を想定して訓練

9月25日、福祉センターで福岡県が実施している「災害時要援護者支援事業」の一環として、峰畑区と勝野1区の自主防災組織を対象にワークショップが行われました。

第1回目のこの日は、災害が発生したときに一人で避難できない人と一緒に避難するためにはどうすれば良いのかをゲームを体験して考えました。参加者は、ワークショップを通じて避難に対する考え方、日ごろからの備えについて意見を交換していました。

◎小竹町で太陽光発電事業を開始

10月10日、小竹町と株式会社ウエストエネルギーソリューションが太陽光発電事業に関する協定書を締結しました。

株式会社ウエストエネルギーソリューションは、本社を広島県広島市に置き、メガソーラーならびに産業用太陽光発電システムの企画・設計等を行っています。

御徳波打地区に設置される太陽光パネルは8,148枚で、約2,000,000kwh／年(一般家庭約600世帯分)を発電する見込みです。



◎今年も盛り上がりました

10月14日、中央公民館前広場で「こちくちゃん市」が行われました。

14団体が参加し、特色のあるメニューを味、見た目、お手ごろ感、もう一度食べてみたいの4項目で競う「美味Cグルメコンテスト」や和太鼓の演奏、ストリートダンス、バナナのたたき売り、少林拳の技の披露やラムネの早飲み競争などのステージイベントで盛り上がり、約3,000人の来場者は楽しいひとときを過ごしました。





今月の納税

税金は納期限までに納めましょう

問い合わせ▶税務住民課収納係☎2・1216

集合税 一町県民税・固定資産税・国民健康保険税一

第5期納期限 11月30日(金)

【口座振替日 11月26日(月)】

▶税の公平性

納付期限内に税金を納めた人との税の公平性を保つため、納期限が過ぎた後も納付がない場合、督促状を送ります。督促後、完納されないときは差押え等の処分の対象になりますので、納期限までの納付をお願いします。

▶口座振替による納税について

振替日は毎月25日(振替日が休日の場合は翌営業日、12月と2月は22日)です。自動的に指定の口座から税金が引き落とされるので、納め忘れの心配がありません。手続きは、町指定金融機関(福岡銀行、西日本シティ銀行、福岡ひびき信用金庫、飯塚信用金庫、直鞍農協、ゆうちょ銀行)または税務住民課で行えます。



専門家から学んで高血圧予防

一 高血圧予防教室開催 一

問い合わせ▶保健センター☎2・1864



高血圧予防教室の最後の教室となりました。

今回は、薬剤師による正しい薬の飲み方や薬についてのお話です。ぜひ、参加してください。

- 日時 12月6日(木) 13時30分から15時まで
- 場所 保健センター
- 講師 白土康恵さん(小竹町立病院薬剤師)
- 参加は無料です。当日は、保健センターまで送迎バスがあります。希望する場合は、事前に保健センタ(☎2・1864)に申込みください。



人権擁護委員に再任されました



梅野師子さん(赤地区)が人権擁護委員として法務大臣から委嘱されました。

任期は、平成24年10月1日から平成27年9月30日までです。

人権擁護委員は、地域の皆さんの人権が侵害されないように常に注意を払っています。日常生活の中で何か困ったことがあれば気軽にご相談ください。



消費生活相談員募集

問い合わせ▶産業課☎2・1167

【雇用期間】平成25年1月1日から平成26年3月31日まで(12か月契約、契約更新の可能性あり)
【勤務地】直鞍広域消費生活センター《仮》(平成25年1月1日開設予定、直方市役所5階)
【業務内容】消費生活に関する相談を受け、解決へ向けての情報提供、助言、あっせん等の相談業務(POINTへのパソコン入力を含む)、消費生活に関する啓発業務他

【雇用日数】月20日(土日祝日休み)
【必要要件】①行政や福岡県消費者協会が主催する消費者相談員養成研修を修了した人②消費生活指導員、消費生活アドバイザー、消費生活コンサルタントいずれかの資格を有する人③パソコン入力に支障をきたさないこと
▼①もしくは②の要件を満たし、かつ③の要件を満たす人
【申込締切】11月20日(火)



四種混合ワクチン予防接種について

問い合わせ▶保健センター☎2・1864

平成24年11月1日から、新たに四種混合ワクチン予防接種(ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ)が始まります。

●対象者 生後3か月から90か月未満(7歳6か月未満)の乳幼児

※四種混合ワクチン予防接種は、平成24年8月1日以降に生まれた人やこれまでに三種混合ワクチンとポリオワクチンを一度も接種していない人が対象となります。

生ポリオワクチン、単独の不活化ポリオワクチン、三種混合ワクチンのいずれかをすでに1回接種している人は、四種混合ワクチンではなく、三種混合ワクチンと単独の不活化ポリオワクチンを接種してください。原則として、最初に接種した不活化ポリオワクチン(単独または四種混合)を最後まで接種することになっています。

ただし、ワクチンの不足等で最初に接種した不活化ポリオワクチンで接種が完了できない場合は、単独の

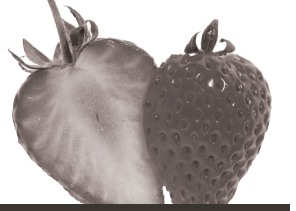
	初回接種	追加接種
標準的な接種年齢	生後3か月から12か月まで	12か月から1歳6か月まで
接種間隔と回数	20日から56日までの間隔をあけて3回接種	初回3回目終了後、6か月以上あけて1回接種

※標準的な接種年齢を過ぎた場合でも、7歳5か月までは接種が可能です。

●接種方法 不活化ポリオワクチンと四種混合ワクチンを併用することが可能です。詳しくは接種医または保健センターにお尋ねください。

直方鞍手地区 四種混合予防接種実施医療機関

	医療機関名	住 所	電話番号
町内	小竹町立病院	小竹町勝野1191	☎2-0282
直方市	伊東内科循環器科医院	直方市新知町471-2	☎0949-24-4188
	魚住内科胃腸科医院	直方市頓野1919-4	☎0949-26-6610
	大野小児科医院	直方市日吉町3-2	☎0949-22-0305
	大庭小児科医院	直方市感田2154-1	☎0949-26-3917
	香月内科医院	直方市下境1147-2	☎0949-22-3520
	くきた小児科内科クリニック	直方市植木1007	☎0949-24-5808
	栗原小児科内科クリニック	直方市神正町3-29	☎0949-22-1900
	菅原内科呼吸器科医院	直方市頓野2104-31	☎0949-28-1288
	田代医院	直方市溝城3-5-41	☎0949-22-3030
	戸田医院	直方市中泉401	☎0949-22-2114
	殿町医院	直方市殿町13-10	☎0949-22-0438
	永松内科胃腸科医院	直方市頓野1532-1	☎0949-26-7750
宮若市	有吉病院	宮若市上有木397-1	☎0949-33-3020
	尾上小児科医院	宮若市宮田76-5	☎0949-32-0084
	下川医院	宮若市鶴田1794-212	☎0949-32-0073
	杉坂クリニック	宮若市宮田241-136	☎0949-32-3650
	杉山内科医院	宮若市福丸204-6	☎0949-52-0031
鞍手町	宮田病院	宮若市本城1636	☎0949-32-3000
	梅谷外科胃腸科医院	鞍手町中山2262-3	☎0949-42-3377
	木原医院	鞍手町中山3660-1	☎0949-42-5005
	のりまつ医院	鞍手町猪倉349-1	☎0949-42-7008
	原医院	鞍手町新北1659-1	☎0949-43-2030



秋季環境美化運動にご協力をお願いします

問い合わせ▶税務住民課環境係 ☎2・1946

▷日 時 11月25日(日)※小雨決行

8時30分役場前河川敷受け入れ開始 10時30分終了

▶雨天の場合は、12月2日(日)に順延します。

▶実施・順延にかかわらず、防災行政無線で放送します。
(午前7時30分ごろ)

▷回収品 ①固形燃料用ごみ(燃えるごみ)

②空きかん・空きビン

③その他の燃えないごみ

▶上記3種類に分別して回収場所に持ち込んでください。
(※家庭からのごみは受け取りできません。)

▷主 催 小竹町環境衛生連合会・小竹町

▷協力団体 小竹町教育委員会・小竹町老人クラブ連合会・小竹町商工会・小竹町御徳工業団地企業連絡協議会・小竹学園・小竹町建設協力会・株式会社アーチ電工・小竹化成株式会社・太平洋工業株式会社・一井工業株式会社・株式会社福岡亜興・大國運送株式会社・株式会社マクシス・シントー(旧三和金型株式会社)・富士開発株式会社・上野養鶏場・西濃運輸株式会社社豊支店・タカハタプレジジョン九州株式会社・久留米運送株式会社

ごみのないきれいな町にしよう！



人権講演会に参加しませんか

問い合わせ▶総務課人権係 ☎2・1212

◎日時 12月4日(火)
受付▷14時から 開会▷14時30分

◎場所 小竹町中央公民館 2階大研修室

◎講師 有延忠剛さん(北九州フューチャーズ代表)

◎演題 「生きさる」～一度きりの命、最大限の人生

●講師プロフィール

昭和39年福岡県豊前市に生まれる。
中学、高校時代は野球部に所属し、高校1年生の3月、甲子園に出場。

大学卒業後は、中学・高校の体育講師となり、その後、北九州市福祉事業団に入職。平成8年から北九州市障害者スポーツセンターへ異動となり、障害者スポーツに本格的に関わる。

平成13年に身体障害者野球チーム「北九州フューチャーズ」を結成。以後10年間代表兼監督としてチームを指揮。その間2度の全国優勝を果たす。現在も障害者スポーツセンターに勤務する傍ら、ふうせんバレーボール、ボッチャ、車椅子バスケットボールなどの障害者スポーツに深く関わっている。



◎第3回
12月1日(土)
中央公民館
※時間は各会場19時から20時まで



「土砂災害警戒区域指定等」について 住民説明会を行います

問い合わせ▶総務課庶務係 ☎2・1212

福岡県直方県土整備事務所 ☎0949・22・5616

◎「土砂災害警戒区域等の指定」とは？
土砂災害の恐れのある区域など、建物が破壊される住民に大きな被害が生じる恐れがある区域を土砂災害防止法に基づいて、福岡県が指定を行います。
今回、町内3か所で「土砂災害警戒区域等の指定」についての住民説明会を行います。地域内の危険な場所の確認や防災活動に必要な情報を得ることができ、参加

をお願いします。

指定地区や説明会の詳しい内容については問い合わせください。

◎第1回
11月27日(火)
小竹北小学校体育館

◎第2回
11月29日(木)
小竹西小学校体育館

◎第3回
12月1日(土)
中央公民館

※時間は各会場19時から20時まで



「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」が発行されます

～ 年末調整・確定申告まで大切に保管を！ ～

問い合わせ▶直方年金事務所 ☎0949・22・0891

国民年金保険料は、所得税および住民税の申告において全額が社会保険料控除の対象となります。その年の1月1日から12月31日までに納付した保険料が対象です。
この社会保険料控除を受けるためには、納付したことを証明する書類の添付が義務付けられています。
このため、平成24年1月1日から9月30日までの間に国民年金保険料を納付されたかたについては、「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」が本年11月上旬に日本年金機構本部から送付されますので、年末調整や確定申告の際には必ずこの証明書(または領収証書)を添付してください。
また、10月1日から12月31日までの間に今年はじめて国民年金保険料を納付されたかたについては、翌年2月上旬に送付されます。

除に加えることができますので、ご家族あてに送られた控除証明書を添付のうえ申告してください。
「社会保険料(国民年金保険料)控除証明」についての照会は、控除証明書のはがきに表示されている番号に問い合わせください。
控除証明書専用ダイヤル
(11月1日から平成25年3月15日まで)
☎0570・070・117
(ナビダイヤル)
▼ナビダイヤルは、一般の固定電話からおかけになる場合は全国どこからでも、市内通話料金でご利用いただけます。ただし、一般の固定電話以外(携帯電話等)からおかけになる場合は、通常の通話料金がかかります。▼050または070から始まる電話でおかけになる場合は(☎03・6700・1130)へ。この電話番号におかけになる場合は、通常の通話料金がかかりますのでご注意ください。



国民健康保険からのお知らせ

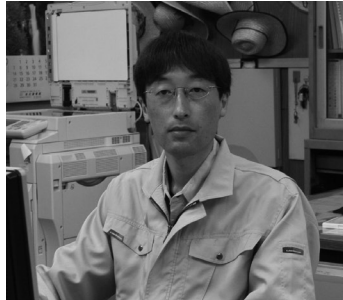
問い合わせ▶健康増進課保険年金係 ☎2・1224

●医療費通知(医療費のお知らせ)をご存じですか
国民健康保険をはじめとする公的医療保険では、医療機関を受診した際、医療機関の窓口で医療費の一部(一部負担金)を支払うだけで医療を受けることができるので、医療費の総額が意識しにくい仕組みになっています。
そこで、小竹町国民健康保険では、医療費負担のしくみや健康について理解を深めていただくために、年6回(2か月ごと)に「医療費通知」「医療費のお知らせ」を各世帯にお届けし、みなさんの医療費をお知らせしています。
医療費通知をご覧いただき、受診状況をふり返り、健康な体づくりや病気の早期発見、早期治療に心がけましょう。

●診療明細書はあなたが受けた診療内容を知ることができる大切な資料です
「診療明細書」には、初・再診、入院料、検査、投薬、注射などが、項目ごとに詳しく記載されているので、どのような治療が行われたのか、また、どんなことにどれだけの医療費がかかっているのかを知ることができ、きる大切な資料ですので、捨てずに大切に保管してください。
なお、「診療明細書」は原則無料で交付することになっていますが、保険請求がコンピュータ化されていない一部の医療機関では有料もしくは交付できない場合があります。



新規採用職員の紹介



本川正和

Masakazu Honkawa

上下水道課
工務係

このたび、上下水道課工務係に配属となりました本川正和です。私は町外の出身ですが、このたびの採用に伴い町内に引っ越してきました。

今回配属となった工務係は上水道の業務が主となりますが、前職で上水道の設計業務を経験していますので、その経験を生かすことができると思っています。

しかし、施設の管理業務や日常の漏水対応等未経験の業務があり、これから日々勉強し、一日も早く即戦力になれるよう努力したいと思います。

また、上水道の業務は直接町民の方々と接する機会が多いことから、信頼される職員になれるよう頑張りますので、よろしくお願いします。



瀬在丸 聖

Kiyoshi Sezaimaru

建設課
建設技術係

このたび、建設課建設技術係に配属となりました瀬在丸聖です。前職では、民間企業において建設工事の施工管理を行っていました。建設課での仕事とは、技術的な面では共通する部分も多くありますが、まだまだ分からない事が多く、一日でも早く戦力になれるように頑張っていきたいと思います。

また、建設課の仕事は、住民の皆さんの生活に直結する業務がほとんどのため、少しでも住民の皆さんのお役に立てるように頑張っていきますので、よろしくお願いします。



里親制度説明会のご案内 ～里親になりませんか～

問い合わせ▶福祉課一般福祉係 ☎2・1219



●里親制度説明会について

- 日 時▶随時(説明を聞いてみたいというかたが集まり次第)
- 場 所▶小竹町役場(詳細は参加者に連絡します)
- 内 容▶里親制度について、里親になるための心構えについて
※ その他、参加者からの質問等にお答えします。

対象者▶里親制度に興味がある人

申し込み▶福祉課一般福祉係窓口または電話で申し込み

里親とは、家庭のさまざまな事情(親の病気、死亡、離婚、虐待など)で、家庭で生活することができない子どもたちを家族の一員として育てて行く人たちのことを言います。

ことから、住民の皆さんに対し里親制度への理解を深めていただけるような機会を作り、さまざまな情報提供に努めています。

「まだ里親になることを決めてはいけど・・・」里親ってどんなことをするの?」など少しでも興味のあるかたに対して里親制度についての説明会を随時行っていますので、一度参加してみませんか。



西小フェスタ2012

問い合わせ▶小竹西小学校 ☎2・0079

- 日時
11月18日(日)
10時から13時まで
- 場所
小竹西小学校体育館
- 内容
▽校区内での鼓笛演奏と呼び込み(8時40分から9時30分まで)
栄町公園・マルシン前・本町公園・新多コミュニケーションセンターで演奏します。

- ▽交流集会(10時から11時50分まで)
体育館で音楽劇や合唱などを児童が発表します。小竹中学校の吹奏楽部が出演します。
- ▽昼食(12時から12時40分まで)
体育館で会食する予定です。
- ▽閉会式(13時から)
※駐車場は運動場をご利用ください。西門よりお入りください。



小竹南小フェスタ2012

問い合わせ▶小竹南小学校 ☎2・0033

- 日時
11月18日(日)
9時から11時30分まで
- 場所
小竹南小学校体育館
- 内容
▽第1部
各学年の発表
国語科や音楽科、総合的な学習の時間等で学習した成果を発表します。
- ▽第2部
児童やPTAの発表
「わたしが主役」と題し



- て、ダンス等日ごろ子どもたちが習っていることを発表します。
- ▽バザー
11時20分から13時まで
理科室・中庭
PTAバザー実行委員会によるリサイクルバザーです。軽食や菓子類もあります。



小竹町立病院だよりー 第11回 院長のごあいさつ ー

問い合わせ▶小竹町立病院 ☎2・0282

皆さんこんにちは。

私は平成24年4月1日に院長に就任しました。

小竹町立病院では、患者さんの立場に立って医療を実践することを最大の使命としています。医師、看護師、他の職種で働く人々が一丸となって、患者さん一人ひとりの診療にあたるのが私たちの責任であると考えています。

患者さんに「小竹町立病院で診療を受けて良かった。」と思っていただけるよう、職員一同精進していきますので何とぞよろしくお願いします。



小竹町立病院 院長 加来隆一郎

小竹町立病院の紹介



- 診療科目
内科、糖尿病代謝内科、消化器内科、リハビリテーション科
※ 小竹町立病院では、本年度よりリハビリテーション科を開設しました。
- 診療時間
8時30分から17時15分まで(土曜午後・日祝日休診)
- 所在地
小竹町大字勝野1191番地

今月の健康行事

- ▶内容によっては事前に予約が必要なものや対象者が限られる場合がありますので、保健センターに問い合わせください。
 - ▶ウォーキング教室は、上靴、水筒、タオルを持参してください。
 - ▶筋力アップ教室・高血圧予防教室は、会場までバスの送迎を行います。（希望する場合は事前に申し込みが必要です。）
- ◎問い合わせ…保健センター ☎2・1864

11月

- 16日(金)： 特定健診・基本健診・各種がん検診
8時30分～10時
総合福祉センター
- 17日(土)： 特定健診・基本健診・各種がん検診
8時30分～10時
保健センター
- 20日(火)： 3歳児健診
13時15分～13時45分
保健センター
- 21日(水)： 特定保健指導ウォーキング
10時～12時
町民体育館
- 27日(火)： 三種混合予防接種
13時15分～13時45分
保健センター
- 28日(水)： 特定保健指導ウォーキング
10時～12時
町民体育館

12月

- 4日(火)： 乳児健診
13時15分～13時45分
保健センター
- 6日(木)： 薬剤師による高血圧予防教室
13時30分～15時
保健センター
- 10日(月)： 特定保健指導ウォーキング
10時～12時
中央公民館
- 11日(火)： 1歳6か月児健診
13時15分～13時45分
保健センター
- 12日(水)： 筋力アップ教室
13時30分～15時
中央公民館
- 13日(木)： すくすく教室
13時15分～13時30分
保健センター

乳幼児健康診査を受けましょう！

小竹町では、小竹町在住のお子さんを対象に乳幼児健診、すくすく教室（離乳食教室）を実施しています。

乳幼児健診では、身長・体重などの発育面だけでなく、月齢（年齢）に応じた精神・運動発達面の診察をしています。また、子育てにおける悩みなど、さまざまな相談にも応じています。

対象者には健診前に案内を送付していますので、案内が届いたら必ず健診を受けましょう。健診に来られなかったかたについては、後日ご自宅を訪問して健診の案内をしています。やむを得ず健診が受けられない場合は、事前に小竹町保健センター（☎2・1864）に連絡をお願いします。

また、すくすく教室では、調理実習を通じて離乳食の作り方や栄養について学ぶ機会を提供しています。



乳児健診・1歳6か月児健診・3歳児健診

会場▶保健センター 受付時間▶13時15分から13時45分まで

●乳児健診

対象者	満4か月・7か月・12か月の乳児
日 程	11月13日(火)、12月4日(火) 平成25年1月8日(火)、2月5日(火)、3月12日(火)
健診内容	問診、小児科医師による診察、保健師や助産師による保健相談、栄養士による栄養相談

●1歳6か月児健診

対象者	満1歳6か月から1歳9か月の幼児
日 程	12月11日(火)、平成25年3月19日(火)
健診内容	問診、小児科医師による診察、歯科健診、保健師や助産師による保健相談、栄養士による栄養相談

●3歳児健診

対象者	満3歳から3歳3か月の幼児
日 程	11月20日(火)、平成25年2月12日(火)
健診内容	問診、小児科医師による診察、歯科健診、尿検査、保健師や助産師による保健相談、栄養士による栄養相談

すくすく教室（離乳食教室）

会場▶保健センター 受付時間▶13時15分から13時30分まで

対象者	離乳食開始の生後5・6か月の乳児
日 程	12月13日(木)、平成25年3月21日(木)
健診内容	離乳食の調理実習と試食

※すくすく教室（離乳食教室）については、4か月児健診で案内していますが、参加を希望する場合は、事前に保健センターに申し込みをしてください。

はげまして はげまされて

竹浪正造・著
廣済堂



93歳正造おじいちゃん
の56年間のまんが絵日記。
忘れていた日本の家族の姿が描かれています。
子どもの成長、巣立ち、かあさんの入院、そしてお別れ……

超ローカロリークッキング

大沼奈保子・著
講談社



1人分が5分できるかんたんダイエット。
レンジクッキング、トースタークッキング、超ローカロリークッキング、ハーフカロリークッキングなど、カロリーを大幅にダウンするノウハウ満載のダイエット本。

アミちゃんの手芸ランド 秋、おたんじょう日

永井泰子・作
大日本図書



葉っぱがきれいに色づいて、すっかり秋の景色です。落ち葉で部屋を飾ったり、ゆらゆら揺れるフェルトのモビール、バーベキュー用の手袋、ルーム・シューズ……。季節を楽しみながら作ってみませんか？

地球をほる

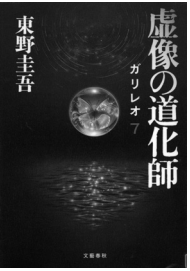
川端誠・作
B L出版



旅行に行くことにしたつよしとけんた。姉さんのさくらとともに地面をほって、地球の裏側へいってみよう。目指すは、アメリカ！ほって、ほって、着いたところは……。川端誠の楽しいウルトラナンセンス・アドベンチャー絵本。

虚像の道化師 ガリレオ7

東野圭吾・著
文藝春秋



指一本触れずに転落死させる術、他人には聴こえない囁き、女優が仕組んだ罠……刑事はさらに不可解な謎を抱え、あの研究室のドアを叩く。



読書の森
図書室にある本を紹介しています。

日本語を味わう名詩入門2 金子みすゞ

矢崎節夫、萩原昌好・編
あすなろ書房



『こたまでしょうか』他27編がわかりやすい解説と高橋和枝さんのやさしいイラスト添えて収録された、子どもから大人まで楽しめるかわいい詩集です。

輝きの季節

ターシャ・テューダー・文・絵 食野雅子・訳
メディアファクトリー



『おばあちゃま、ママが私くらいだった時のことを話して！』という孫の声に
応えて、ターシャが、子どもたちと過ごした豊かな日々を振り返ります。バレンタインデー、リンゴジュース作り、ハロウィーン、お誕生会……柔らかなイラストで愛情にあふれた家族の行事を紹介します。

どんぐりむらのおまわりさん

なかやみわ・作
学研教育出版



どんぐりむらのおまわりさんは、今日も朝から大忙し。パトロール、交通整理、木から降りられなくなった男の子・いっちの救出、まてばじいさんのなくし物の捜索……おまわりさんに憧れ、こどもおまわりさんとして頑張るいっちと、おまわりさんとの交流を描きます。

よろしくともだち

内田麟太郎・作 降矢なな・絵
偕成社



コダヌキはオオカミが怖くてなかなか仲間に入れない。それを知ったオオカミは落ち込む。初めての挫折。本当は優しいオオカミに気づくまでには？



開館時間 8:30～17:15
問い合わせ 中央公民館 ☎2・0452

子どもたちに絵本の楽しさを伝えています

みて！きいて！
おたのしみおはなし会



日 時▶12月9日(日)
11:00～12:00
場 所▶中央公民館
内 容▶ファザリングジャパンによる「パパの本気みせたる！絵本ライブ」

相談

補聴器交付（修理）
巡回相談

【日時】11月15日（木）10時から11時まで
【場所】小竹町総合福祉センター図書室
【持参するもの】身体障害者手帳、印かん、補聴器
●交付（修理）を受けた場合は、世帯の負担能力に応じて費用が必要です。

【問い合わせ】福祉課一般福祉係 ☎2・1219

平成24年度人権週間
特設人権相談所

【日時】12月6日（木）10時から15時まで
【場所】小竹町総合福祉センター
【相談内容】人権問題、金銭貸借・売買等のトラブル、借地借家・登記・その他の近隣関係、一般の法律問題、相続・離婚・扶養・その他の家庭内の心配ごと
【担当者】法務局職員、地元人権擁護委員、行政相談委員
▼相談は無料、秘密は厳守します。

【問い合わせ】福岡法務局直方支局 ☎0949・22・1144

労働問題相談会

【日時】11月26日（月）13時から16時まで
【場所】小竹町総合福祉センター
【相談内容】賃金未払い、解雇、労働条件の切り下げ、いじめ、セクハラなど
▼相談は無料、秘密は厳守します。
【問い合わせ】福岡県筑豊労働者支援事務所 ☎0948・22・1149

無料調停相談会

【日時】11月30日（金）10時から15時まで
【場所】小竹町総合福祉センター
【相談内容】金銭問題（消費者金融含む）、交通事故、土地・家屋、家庭問題、公害（騒音、悪臭等）、戸籍、相続、その他一切の法律問題
▼相談は無料、秘密は厳守します。
【主催】直方調停協会 ☎0949・22・0522

行政書士による
交通事故無料相談会

【日時】12月8日（土）10時から16時

まで

【場所】立岩公民館（飯塚市新飯塚20-30）
【内容】示談書・損害賠償請求書等の作成および保険請求手続などについて
▼予約申込は不要です。

【問い合わせ】福岡県行政書士会 ☎092・641・2501

募集

放送大学平成25年4月
入学生募集

放送大学は、BSデジタル放送を利用して授業を行う、国がつくった通信制の大学です。心理学・福祉・経済など幅広い分野の科目を1科目から自宅のテレビ等で学べます。
15歳以上（全科履修生は18歳以上）であれば無試験で入学でき、学士（教養）の学位がとれます。短大、専門学校などからも編入学できます。
入学のチャンスは年2回（4月と10月）です。大学院もあります。
【募集期間】12月1日（土）から平成25年2月28日（木）まで
【資料請求 問い合わせ】放送大学福岡学習センター ☎092・473・

1365

平成24年度陸上自衛隊
高等工科学校生徒説明会

【日時】11月25日（日）、12月2日（日）、12月9日（日）／10時から11時まで、13時から14時まで
【場所】飯塚地域事務所2階会議室（飯塚市川津639-11）
【受験資格】中卒（見込含む）から17歳未満の人（年齢は平成25年4月1日現在）
【問い合わせ】自衛隊福岡地方協力本部飯塚地域事務所 ☎0948・22・4847

へいちくで行く
「列車でGO婚」

平成筑豊鉄道、平成筑豊鉄道推進協議会、直方のまちづくりグループ「Dream Messenger」の夢のコラボで「GO婚列車」を走らせます。
【日時】11月18日（日）10時から17時まで
【参加資格】30歳から45歳までの单身男女
【募集人数】男女各15人（応募者多数の場合は抽選）
【参加費】五千元
【申込締切】11月10日（土）
【問い合わせ】Dream Messenger 事

お知らせ

直方・鞍手で、
作る、語る、学ぶ、
ちよつくらふれ旅

【開催期間】11月3日（土）から12月16日（日）まで
【場所】直方市、宮若市、鞍手郡の各会場
【内容】自然・歴史・文化・暮らしなどの地域資源を生かした学びふれあい体験。地元の名人・職人に習う「ものづくり」やゆつたりと直方・鞍手地域を学ぶ「まち歩き」など40プログラムです。
【問い合わせ】ちよつくらふれ旅運営事務局（福岡県広域地域振興課） ☎092・643・3180（詳しくはインターネットで『ちよつくらふれ旅』と検索してください。《

筑豊市民大学
公開講演会

【日時】12月8日（土）12時30分開場、13時30分開演

屋外広告物を除去します

【日時】11月27日（火）
▼町内の主要な路線で、福岡県屋外広告物条例の違反となる立看板、はり紙、はり札等を取り除き、一週間保管します。
▼違反広告物に心当たりのある人は、自主的に取り外してください。
【問い合わせ】建設課建設事務係 ☎2・1900

個人事業を営まれている
皆さんへ

個人事業税第2期分の納期限は11月30日（金）です。
県税は、住みよい街づくり、郷土づくりを進めるための貴重な財源です。忘れずに納期限内に納めま

しょう。

個人事業税の納税は、便利で安全な「口座振替」をご利用ください。（振替開始は、申出日の翌々月からです。）
【問い合わせ】福岡県飯塚・直方県税事務所課税第1課事業税係 ☎0948・21・4903

税務署からのお知らせ

◎11月11日から11月17日まで
「税を考える週間」です

国税庁では、毎年11月11日から11月17日までを「税を考える週間」と定め、税の意義や役割などについて考えていただくと共に、税務行政の現状と取組に対する理解を深めていただくように活動しています。
平成24年度は、「税の役割と税務署の仕事」をテーマとして、税の役割、適正・公平な課税と徴収の実現に向けた取組や国税庁のICT化・国際化に対する諸施策について紹介します。

◎年末調整説明会を行います

直方税務署では、事業者の方々を対象に、年末調整および法定調書の記載方法の説明会を開催します。ぜひ、ご出席ください。本年度

の年末調整関係用紙は、説明会前に事業者へ送付しますので、説明会当日にご持参ください。

なお、説明会会場の駐車場が手狭ですので（有料）、車での来場はご遠慮ください。

【日時】11月20日（火）13時30分から
【場所】ユメニティのおがた
【問い合わせ】直方税務署法人課税部門 ☎0949・22・0719

福岡県からのお知らせ

◎東日本大震災で発生した災害廃棄物の処理について

東日本大震災で発生した災害廃棄物の処理が北九州市で始まりました。北九州市では、国の基準よりも厳しい基準を設け、放射線量などを測定しながら処理されています。県では、今後ともモニタリングポストによる放射線量の監視を実施し、安全を確認していきます。放射線量の測定データや処理の必要性・安全性について、県のホームページでお知らせしています。県ホームページのトップページ右側「災害廃棄物の広域処理に関する情報」のバナーからお入りください。

【問い合わせ】福岡県廃棄物対策課 ☎092・643・3363

人

population

の動き

9月末現在

■人

□

8,577人

男性

4,040人

女性

4,537人

出生

5人

死亡

9人

転入

14人

転出

14人

■世帯数

3,991世帯

ごみ

garbage of refuse-derived fuel

の量

9月末現在

154,830 kg

(前月比 - 17,570 kg)

ごみの減量と資源回収にご協力お願いします

資源回収事業として、紙類・衣類は資源回収団体の皆さんが役場前で回収(月1回)しています。

▶回収日 11月18日(日)9時から12時まで

交

a traffic accident

通事故の発生件数

9月末現在・()は前年同月比

	9月中	9月末累計
発生件数	4件(+1)	32件(+3)
死者数	0人(±0)	0人(-1)
傷者数	4人(+1)	41人(+1)

毎週木曜日は
窓口業務を午後7時まで
延長しています

▷祝日は除きます
▷業務内容によっては、
当日処理ができない
場合があります



のおがた警察署 街頭犯罪だより			
■管内街頭犯罪発生状況			
	9月中	9月末まで	
	件数	件数	前年比
車上ねらい	9件	112件	-6件
自転車盗	27件	155件	-7件
空き巣	14件	80件	+5件
直方警察署 ☎0949-22-0110			

出店荒らしが増加中！

平成24年9月末現在、直方警察署管内で発生した出店荒らしは22件（前年比+9件）です。
◎確実に施錠しましょう。
◎レジ等に現金を残さないようにしましょう。
◎不審者を見たら警察に通報しましょう。



●かわいいお化けや魔女たちが訪問

10月21日、勝野2区育成部が地域交流を目的にハロウィーンを行いました。

ハロウィーンは、ヨーロッパを起源とする民族行事の一つで、収穫感謝祭とも言われ、そのシンボルであるかぼちゃのお化けは有名です。

お化けや魔女に仮装した幼稚園から小学校までの子どもたち9人が参加。区内の10軒の家々を訪れ、お菓子をもらった後、地域の人と交流を深めました。

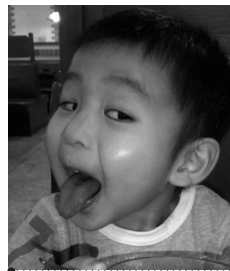


●コスモス畑が地域を彩りました

秋になると桃色、白、赤の花を咲かせるコスモス。

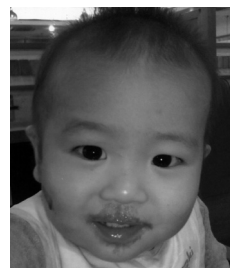
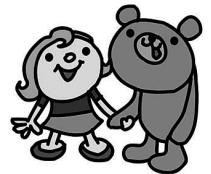
このコスモスは、勝野一区老人会「勝寿会」の皆さんが育てたもので、地域の人や通行する人たちの目を楽しませるとともに、コスモスは漢字で表すと「秋桜」ですが、その文字のように秋の訪れを教えていました。

コスモス畑には、畑の中と外で違った風景を見ることが出来るため、写真撮影をする人も多く訪れたそうで、町内でも新たな名所になるのではと期待が膨らみます。



桑田ヒロトちゃん(勝野二区)
平成21年5月28日生まれ

☆ひとことメッセージ☆
来年から幼稚園に行きます。
お友達たくさんできるといいな。



桑田ユズキちゃん(勝野二区)
平成23年5月15日生まれ

☆ひとことメッセージ☆
わんぱく坊主の次男坊。
今日も相棒、雅といたずらだー！！



●町内にお住まいで、満3歳までの小竹っ子を募集しています。

●12月号に掲載を希望するときは、11月12日(月)までに総務課情報係窓口でお申し込みください。